

看護学研究院附属専門職連携教育研究センターが第 16 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会にて学術集会長賞を受賞しました

11月26日(日)、藤田医科大学(愛知県豊明市)にて、[第16回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会](#)(学術集会長:大槻眞嗣医学部教授・アセンブリ教育センター長)が開催されました。

[日本保健医療福祉連携教育学会\(JAIPE\)](#)は、専門職連携教育(IPE; Interprofessional Education)と専門職連携実践(IPC; Interprofessional Collaboration)の国内最大の学会です。今回の学術集会は、4年ぶりの対面形式での開催となったことや、近年の国内のIPE・IPC熱の高まりもあり、全国から多くの関係者が集まった盛会となりました。

今大会へ千葉大学からは、[大学院看護学研究院附属専門職連携教育研究センター\(IPERC\)](#)の酒井郁子センター長、井出成美先生、下井俊典先生、孫佳茹先生、そして医学部附属病院総合医療教育研修センターから朝比奈真由美先生、臼井いづみ先生、大学院生の廣田和人さんの計7名が参加し、計5演題の研究を発表しました。

そうした学術集会への貢献が評価され、当専門職連携教育研究センターが学術集会長賞を受賞することができました。



今回の受賞を機に、今後とも、国内外のIPE・IPCの発展のために貢献できるよう、当センターの活動をさらに活発にしていく予定です。